

## 高性能繊維







要が回復基調にある高性能繊維。文字通り高 い性能から幅広い用途に用いられているが、 既存用途だけでなく、再生可能エネル 防災など、新しい分野での需要拡大にも期待 がかけられている。活躍の場の広がりに、メー カーは高度化やサステイナブルで対応する。

新型コロナウイルス禍の影響から脱し、需

## にも広がる活躍

野が堅調に推移し、 月の売上高は前年比、 連向けなどがけん引役とな ったほか、耐切創性手袋分 ケブラーの販売も自動車関 の拡大が予想されている。 の影響から抜け出して回復 分かれるものの、 基調に入り、年率3~5% 国内需要は、分野・用途で コロナ禍

型コロナウイルス禍の影響 長を目指す。 がなくなった2024年4 の販売を伸ばしている。新 展開の強化で、 防災を切り口にした開発· 米年度以降も安全・安心や 年比数%増収を計画する。 数字を上回り、年間でも前 糸アラミド繊維「ケブラー 6月の販売は前年同期の アラミド繊維の24年度の 持続的な成

東レ・デュポンは、

比ともに上回った。

電気自

性といった特徴に加え、

## 安心・安全、防災切り口に 東レ・デュポン



「ケブラー」で橋脚補強

その中で

けているの も期待をか

ら問い合わせがあり、 施設では複数の電力会社か ットにするが、原子力関連

が、重要施

途だ。ケブ 度や耐熱 ラーは高強 設の防護用

の本格化は26年度からと予 入している。重要施設防護 も始まっている。 安心・安全、防災関連で 建造物の補修分野に参

重要施設防護にも視線 全・安心、 いる。 キーワード ていきた 要を開拓し 防災などを い」として に新しい需 術館・博物館などをターゲ 施設防護では、原子力や美 ウハウを発展させる。重要 り、そこで培った知見やノ 噴石防護で採用されてお

守る。 を使ったシートが山小屋の 施設防護では、ケブラー

設自体や建屋内部の設備を

おり、 とみる。竜巻などで生じる 飛来物の衝突・貫通から施 衝撃性や軽量性にも優れて 施設防護に生かせる

入れる。

顧客と一体となっ

野に目を向けているが、「安 製品を投入する。幅広い分 動車(EV)などの分野に て商品開発を行い、

おり、下半期は拡販に力を

年間でも増収を計画して

この記事は『繊維ニュース』を発行するダイセンの転載許諾 を受けています。